

道づくりのテーマと施策

テーマ3

災害に強く、安心な地域を支える道づくり

頻発化・激甚化する自然災害に備え、県民がいつまでも安心して暮らし続けられる地域を目指します

災害に強く、強靱な県土づくりに寄与する道づくりを進めます

現状と課題

これまでの取り組みにより、災害に強い道づくりを進めてきました

落石の捕捉事例



(一) 別府川本線(川本町) (主) 弥栄旭インター線(浜田市)

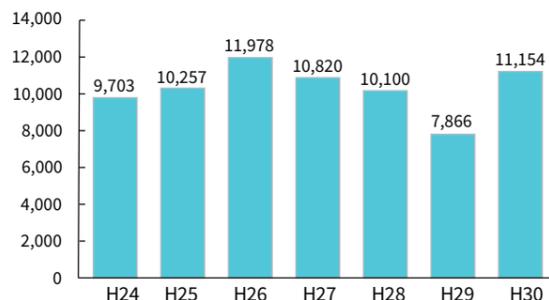
橋梁の耐震補強事例



補強前 補強後 国道191号 堀越橋(益田市)

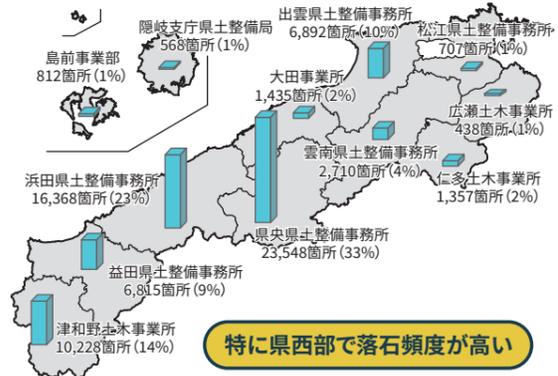
しかし、地形・県土特性により、道路への落石は日常的に発生しています

県管理道路における年度別落石処理件数



年間約10,000箇所落石発生

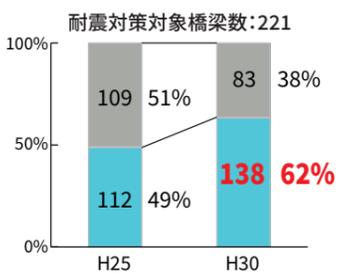
各県土整備事務所の落石処理件数(H24~H30)



特に県西部で落石頻度が高い

地震や豪雨など頻発化・激甚化する自然災害に備えが必要です

橋梁の耐震補強の進捗状況



※H25緊急輸送道路ネットワーク上の対象橋梁数

まだまだ残る要対策橋梁

豪雨等による道路災害の事例(国道261号)



平成30年5月、国道261号が法面崩壊によって10日間にわたり全面通行止めとなりました。この間、路線バスが運休し、江津市内の高校に通学する生徒は市の借り上げバスにより通学しました。浜田道・山陰道を経由する大幅な迂回を余儀なくされ、通常所要時間30分程度のところが60分程度となり、日常生活に大きな影響を与えました。

施策 3-1 落石や斜面崩落に対する道路防災対策の推進

- 道路斜面からの落石や道路法面の崩落等を未然に防ぐため、斜面の監視を強化します
- 道路利用者から落石等の異常に関する情報(現場写真・位置情報)を広く得られるようスマートフォンを用いた通報アプリケーション「パトレポしまね」を推進します
- 必要性・緊急性に応じて計画的に対策を講じます

道路の異常に関する通報手段の拡充



パトレポしまね

落石対策



道路上の落石が低減

落石防護網

落石防護柵

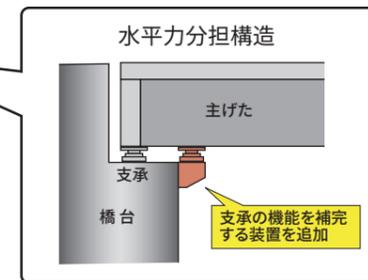
施策 3-2 災害時に人・物資の輸送を安全に行うための道路防災対策の推進

- 地震時の安全な通行を確保するため、主要路線にある橋梁の耐震対策を進めます
- 強風や地震時における電柱倒壊による通行不能を避けるため、無電柱化を進めます

橋梁の耐震補強



(主) 松江鹿島保関線 小女良橋(松江市)

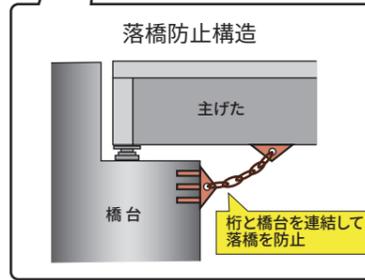


水平力分担構造

主げた

橋台

支承の機能を補完する装置を追加



落橋防止構造

主げた

橋台

桁と橋台を連結して落橋を防止



コンクリート巻き立て工法

橋脚

コンクリートを巻き立てて補強

地震時の安全な通行を確保

市街地の無電柱化



防災性・景観が向上

(一) 松江しんじ湖温泉停車場線(松江市)

安全で快適な通行空間を確保

目指す10年後の姿

指標名	現状(R1)*	目標(R6)	目標(R11)
緊急輸送道路の落石等通行危険箇所整備率	3%	49%	100%
緊急輸送道路の橋梁耐震化率	62%	85%	100%

* 年度当初の実績値